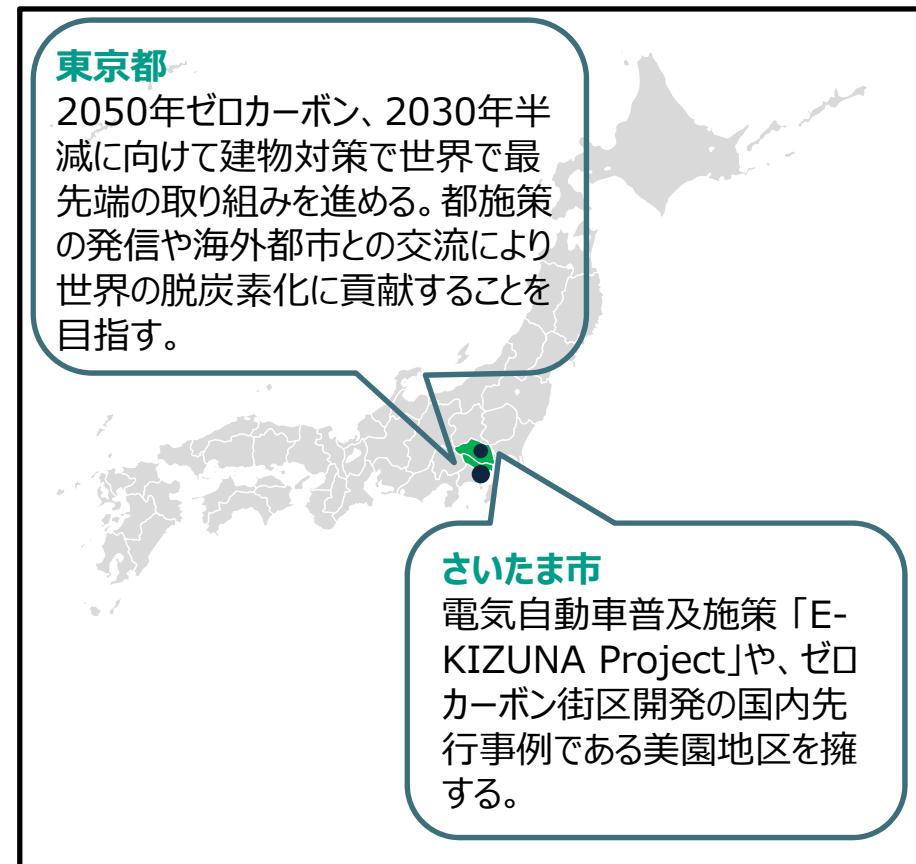


マレーシア国クアランプール市-東京都/さいたま市に関する 都市間連携

東京都とクアランプール市(KL市)は、2019年度から、建築物の環境配慮を促す制度設計で協力してきました。2022年度からは、KL市のカーボンニュートラル街区の実現を目指す取組について、東京都に加え、さいたま市と民間企業のノウハウ・知見を共有するサポートを行っています。



マレーシア国クアランプール市-東京都/さいたま市に関する 都市間連携

東京都		KL市
「2030カーボンハーフ」に向けた建物制度強化等の取組		脱炭素街区構築に向けて脱炭素政策を拡充
さいたま市		
持続可能なエネルギー管理の支援		
Looop 技術情報		UTM (マレーシア工科大学 現地コーディネート)
IGES: 全体コーディネート		SEDA (持続可能エネルギー開発庁:ローカル の状況を踏まえた知見 の共有)



2022年度 活動

- キックオフセレモニーの開催：1回
- 国際会議での発表：4回 (COP27、脱炭素都市国際フォーラム、E-KIZUNA グローバルサミット等)
- 事業関係者の打合せ回数：3回
- 渡航回数：KL市へ1回、東京都へ2回、さいたま市へ1回
- アジアの他都市への知見共有：1回

2022年度 成果

- “ワンサマジュ・カーボン・ニュートラル成長センター”的20のアクションのうち少なくとも半数が実現
- 東京都の建物制度の強化やカーボンハーフに向けた取組を説明
- さいたま市の関係事業者が有する技術でKL市のニーズにマッチしたものが判明、現地適性の議論開始
- 東京都とKL市は、2019年度～2021年度の三年間（フェーズ1）、東京都の建物の脱炭素化に関する施策やノウハウをKL市に移転し、事業期間中、KL市のゼロカーボン宣言に至った。その功績を称えて、C40 Cities Bloomberg Philanthropies Award（「気候ムーブメント」部門）を2022年10月に受賞

